

## 製品安全データシート

QHA104 INTERLINE 605 PART B

バージョン番号 2 改定日 07/10/18

## 1. 製品及び会社情報

## 1.1. 製品識別子

INTERLINE 605 PART B

Product Code

QHA104

## 1.2. 物質/混合物の使用用途/禁止使用用途

Intended use

テクニカルデータシートを参照

専門用途限定

塗装方法

テクニカルデータシートを参照

## 1.3. 安全データシートの提供元詳細

製造元

 International Paint (Korea) Limited  
 626-6 Gyenae-Ri, Chilseo-Myeon, Haman-Gun  
 Gyeongsangnam-Do, Korea

供給元

アクゾノーベルコーティング株式会社

日本東京都千代田区九段北 4 - 1 - 2 8

九段ファーストプレイス 7 階

電話番号

82555862310(韓), 81332644107(日)

ファックス番号

82555876276(韓), 81332644106(日)

## 1.4. 緊急時の電話番号

82555862310(韓), 81332644107(日)

有害性助言用電話

 82555862310(韓), 81332644107(日) 医師及び病院  
 への助言専用

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1. 物質/混合物の分類

Acute Tox. 4;H332

吸入すると有害

Aquatic Chronic 1;H410

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性あり

## 2.2. ラベルエレメント

第11章および第12章の毒性データに基づき、製品ラベルには以下の内容が記載されます。



警告

H332 吸入すると有害

H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性あり

[防止]:

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。

P271 屋外または通気の良い場所でのみ使用すること。

P273 環境への放出を避けること。

[対応]:

P304+312 吸入した場合: 気分が悪くなった場合は医師に連絡すること。

P304+340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で安静にすること。

P391 漏出物を回収すること。

[保管]:

[廃棄]:

P501 地域/国の規則に従って内容物/容器を廃棄すること。

### 2.3. その他の危険

This product contains no PBT/vPvB chemicals.

## 3.組成、成分情報

この製品は次の有害物質を含有する。

成分/薬品表示	Weight %	GHS 分類	注意
亜鉛 CAS 番号: 0007440-66-6	>50	Water react. 1;H260 Pyr. Sol. 1;H250 Aquatic Acute 1;H400 Aquatic Chronic 1;H410	[1]
酸化亜鉛 CAS 番号: 0001314-13-2	2.5- <10	Aquatic Acute 1;H400 Aquatic Chronic 1;H410	[1][2]

[1] 健康および環境への有害危険物質

[2] 作業環境での暴露限度が指定された物質

[3] PBT 物質 または vPvB 物質

\*全文は第16章を参照してください。

## 4. 応急措置

### 4.1. 救急処置の説明

一般的な措置

疑わしい場合、もしくは症状が持続するときは医師の診断を受けること。

意識のない者には口から何も与えないこと。

吸入した場合

吸入しても急性毒性はない。

全てのダストは刺激性があるので、吸入しないこと。高濃度のダスト下では、呼吸器系統及び眼の粘膜に刺激を引き起こすことがある。症状としては赤面、腫れ、かゆみ、涙、くしゃみ、咳がある。

水で鼻と口を洗うこと。症状が出れば空気の新鮮な場所へ移動させること。症状が持続する場合は石の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に触れるとゆるい刺激の恐れあり。長期にもしくは反復して触れると、刺激性の接触性皮膚炎を生じることがある。

接触した部分を水と石鹼で洗うこと。刺激が続くなら医師の診断を受けること。

眼に入った場合

少しの眼の刺激を引き起こす。眼にダストが入ると、刺激もしくはこすれることによる角膜損傷の原因となる。まぶたを大きく広げて、大量の清浄な水で10分間洗うこと。刺激が続くなら医師の診断を受けること。

## 飲み込んだ場合

飲み込んだり、吸入すると、中度の毒性を示します。

きれいな水で口をよくゆすいでください。

飲み込んだ場合は、無理に吐かせないでください。 コップ一杯の水を飲ませ、医師の指示を受けてください。

## 4.2. 重要な急性/遅発性症状および影響

No data available

## 4.3. 緊急治療、特別治療が必要な兆候

No data available

## 5. 火災時の措置

### 5.1. 消火剤

この製品は可燃性です。

燃焼して二酸化炭素を放出します。

空中の粉塵濃度および発火源により、粉塵爆発を起こす恐れがあります。

推奨消火剤：水噴霧、泡（火災）または二酸化炭素、粉末（ぼや） 密閉区域に入る場合は、自給式呼吸器を着用してください。

消火作業の汚染物や水を排水溝や水路に流さないでください。

### 5.2. 物質/混合物固有の危険

Fire will produce dense black smoke. Decomposition products may include the following materials: carbon monoxide, carbon dioxide, smoke, oxides of nitrogen.

Avoid exposure and use breathing apparatus as appropriate.

### 5.3. 消防士へのアドバイス

Cool closed containers exposed to fire by spraying them with water. Do not allow run off water and contaminants from fire fighting to enter drains or water courses.

## 6. 漏出時の措置

### 6.1. 個人の予防措置、保護具、緊急時の対応手順

清掃作業時には、セクション 8 に記載の保護装備を着用すること。

### 6.2. 環境に対する予防措置

Do not allow spills to enter drains or watercourses.

### 6.3. 汚染物の処理方法・処理材および洗浄

埃が立たないようにこぼれた物を掃除機で吸い上げること。掃かないこと。その場所を換気すること。

水路に流さないこと。

排水溝、下水溝、河川、湖などが汚染された場合は、当地の環境保護を管轄する官庁もしくは当地の水道局に連絡すること。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 7.1. 安全な取扱いに関する予防措置

#### Handling

この粉末は非常に細かく、周囲に飛び広がるので注意して取り扱うこと。粉末を取り扱う者は飲食や喫煙の前に手を洗うこと。

#### In Storage

破損や漏れを防止するために容器を注意深く扱うこと。

保管区域においては、裸火と喫煙を禁止。フォークリフトと電気設備は適切な基準に保護されていることを推奨。

## 7.2. 安全な保管条件、配合禁忌

Keep away from the following materials: oxidising agents, strong alkalis, strong acids.

熱、スパーク及び炎を避けて冷たく乾燥した場所に貯蔵すること（25℃以下）。

使用しないときは容器を密閉して保管すること。

直射日光を避けて保管すること。

There are no exposure scenarios, see details in section 1.

## 7.3. 特別な最終用途

皮膚や眼との接触を避けること。ダストを吸入しないこと。ラベルに記載の予防策を守ること。セクション 8 に記載の個人保護具を着用すること。

調合及び塗装場所で喫煙、飲食をしないこと。

# 8. 暴露防止及び保護措置

## 8.1. コントロール パラメーター

提供された情報はACGIH基準に従っている。

物質	短期間（平均15分）		長期間（8時間加重平均）		コメント 分類されていない
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>	
亜鉛	-	20	-	10-	分類されていない
酸化亜鉛	-	-	-	10	分類されていない

(P) 最大暴露限界

(R) 供給者の推奨限界

(SK) 無傷の皮膚を通して吸収される危険がある。

(Sen) 感作作用物質

(Cat1) 区分1 - ヒトに対して発がん性があることが知られている。

(Cat2) 区分2 - ヒトに対する発がん性が予想される。

(Cat3) 区分3 - 潜在的に発がん性があると疑われる物質。

## DNEL/PNEC values

No Data Available

## 8.2. 暴露コントロール

Provide adequate ventilation. Where reasonably practicable this should be achieved by the use of local exhaust ventilation and good general extraction. If these are not sufficient to maintain concentrations of particulates and any vapour below occupational exposure limits suitable respiratory protection must be worn.

### 眼の保護

眼を保護するために側面が遮蔽された安全メガネを着用すること。作業場に眼の洗浄設備の設置が望ましい。

## 皮膚の保護

塩化ビニル製もしくはゴム製手袋を着用のこと。

## その他

皮膚との接触を最小限にするためにオーバーオールを着用のこと。この製品を使用する人は、顔面保護のためにフードもしくはバラクラバ帽の利用も考慮すること。

## 呼吸器保護

濃度が上記の暴露限界を超えたときは、作業員は国際基準で承認された適切な呼吸用保護具を着用しなければならない。可能ならば、排気設備なども備えること。

## 熱的危険性

No Data Available

## 9. 物理的及び化学的性質

色	グレー 粉末
臭気	無臭
臭気限界	Not Measured
pH	不適用
融解点/凝固点(°C)	Not Measured
初留点および沸点範囲(°C)	
引火点 (°C)	999
蒸発率 (エーテル = 1)	Not Measured
可燃性 (固体、ガス)	該当せず
可燃性上限/下限、爆発限界	Lower Explosive Limit: Not Measured Upper Explosive Limit: Not Measured
蒸気圧(Pa)	Not Measured
蒸気密度	Heavier than air.
比重	7.10
水への溶解度	非混和性
分配係数 n-オクタノール/水 (Log Kow)	Not Measured
自然発火点 (°C)	Not Measured
分解温度	Not Measured
粘度 (cSt)	不適用

### 9.2. その他の情報

詳細情報なし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1. 反応性

No data available

### 10.2. 化学安定性

通常保管・処理条件において安定性が認められる (第7章参照)。 過熱により、一酸化炭素、窒素酸化物、煙など、有害な分解性生物を放出する場合がある。

### 10.3. 危険反応のリスク

May react exothermically with: oxidising agents, strong alkalis, strong acids.

### 10.4. 禁止条件

Stable under recommended storage and handling conditions (see section 7).

#### 10.5. 禁忌配合物質

Keep away from the following materials: oxidising agents, strong alkalis, strong acids.

#### 10.6. 危険な分解生成物

Fire will produce dense black smoke. Decomposition products may include the following materials: carbon monoxide, carbon dioxide, smoke, oxides of nitrogen.

Avoid exposure and use breathing appa **ラット** as appropriate.

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

記載された職業暴露限界値を超えた管理濃度の成分溶剤からの溶剤蒸気ガスに暴露すると、粘膜や呼吸系の炎症や腎臓、肝臓、中枢神経系への悪影響など健康への悪影響を及ぼすことがある。症状としては、頭痛、吐き気、めまい、疲れ、脱力感、眠気そして極端な場合には意識を失うこともある。

製品に反復的にまたは長期的に接触すると、皮膚から自然脂肪が奪われ、乾燥肌、炎症、または非アレルギー性接触皮膚炎を引き起こすことがある。溶剤は皮膚から吸収されることもある。飛び散った液体が眼に入ると、炎症や痛みを引き起こし、可逆性の損傷を残すこともある。

The prepa **ラット**ion has been assessed using the Acute Toxicity Data listed below, and classified for toxicological hazards accordingly. See section 2 for details.

Ingredient	Oral LD50, mg/kg	Skin LD50, mg/kg	Inhalation Vapour LD50, mg/L/4hr	Inhalation Dust/Mist LD50, mg/L/4hr
亜鉛 - (7440-66-6)	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず
酸化亜鉛 - (1314-13-2)	5,000.00, <b>ラット</b>	該当せず	該当せず	2.50, Mouse

項目	区分	危険有害性
急性毒性(経口)	分類されていない	該当せず
急性毒性 (経皮)	分類されていない	該当せず
急性毒性 (吸入)	4	吸入すると有害
皮膚腐食性/刺激性	分類されていない	該当せず
眼損傷性/眼刺激性	分類されていない	該当せず
呼吸器感作性	分類されていない	該当せず
皮膚感作性	分類されていない	該当せず
生殖細胞変異原性	分類されていない	該当せず
発がん性	分類されていない	該当せず
生殖毒性	分類されていない	該当せず
特定標的臓器 全身毒性 (単回暴露)	分類されていない	該当せず
特定標的臓器 全身毒性 (反復暴露)	分類されていない	該当せず

	い	
吸引性呼吸器有害性	分類されていない	該当せず

## 12. 環境影響情報

### 12.1. 毒性

この調剤は、危険調剤指令1999/45/EC が規定する従来法に対する評価によって、「環境危険」として分類されていませんが、環境危険物質を含んでいます。詳細は第3章を参照してください。

製品自体に関するデータはない。

製品を排水溝や水路に流さないこと。

### Aquatic Ecotoxicity

成分	96 hr LC50 fish, mg/l	48 hr EC50 crustacea, mg/l	ErC50 algae, mg/l
亜鉛 - (7440-66-6)	0.182, Oncorhynchus tshawytscha	0.068, Daphnia magna	0.106 (72 hr), Pseudokirchneriella subcapitata
酸化亜鉛 - (1314-13-2)	1.10, Oncorhynchus mykiss	0.098, Daphnia magna	0.042 (72 hr), Pseudokirchneriella subcapitata

### 12.2. 持続性および分解性

There is no data available on the prepa ラットion itself.

### 12.3. 生体内蓄積リスク

Not Measured

### 12.4. 土壌の移動性

No data available

### 12.5. PBT および vPvB 評価結果

This product contains no PBT/vPvB chemicals.

### 12.6. 他の有害効果

No data available

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄物処理法

埃が立たないように、こぼれた物を掃除機で吸い上げること。掃かないこと。

排水溝や水路に流さないこと。

廃棄物規制が異なるので、このデータシートの情報を用いて当地の廃棄物規制当局のアドバイスを受けなさい。

## 14. 輸送上の注意

分類されていない

### 14.1. UN 番号

### 14.2. UN 品名

### 14.3. 搬送危険物クラス

陸上輸送

IMDG 等級/区分 サブクラス

分類されていない EmS  
い

ICAO/IATA 等級 サブクラス

#### 14.4. 包装等級

#### 14.5. 環境への危険有害性

分類されていない

陸上輸送 環境負荷物質: あり

IMDG 海洋汚染物質: あり ( Zinc Powder )

#### 14.6. ユーザーの特別予防措置

詳細情報なし

#### 14.7. MARPOL73/78 添付書類 II および IBC コードに基づく大量輸送

不適用

### 15. 適用法令

本製品は日本の規制に従うものである。

消防法:

危険等級 III

毒物および劇物取締法:

該当せず

労働安全衛生法 (MSDS対象物質):

亜鉛

労働安全衛生法 (57条表示物質):

酸化亜鉛

労働安全衛生法: 特定化学物質等障害予防規則

該当せず

有機溶剤中毒予防規則:

該当せず

労働安全衛生法: 製造禁止有害物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律: 特定化学物質

該当せず

PRTR対象物質第1種:

該当せず

PRTR対象物質第2種:

該当せず

廃棄物の処理および清掃に関する法律:

特別管理産業廃棄物



## 16. その他の情報

このMSDSの情報は、私達の現在有する知識及び現在の基準に基づくものです。

この製品は最初に書面によるアドバイスを得ることなく、MSDSに記載の目的以外に使用してはなりません。

常にユーザーの責任において、適用法規の要求に合致するような全ての必要手段を講じて下さい。

### 参考資料

1) GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック、暫定版

日本塗料工業会（平成18年8月）、改訂初版（平成19年5月）

2) 14705の化学商品（化学工業日報社）

3) SDS用物質データベース、日本塗料工業会（平成12年3月）

4) MSDS用物質コードブック、日本塗料工業会（平成12年3月）

5) Safety Data Sheet (International Paint)

6) NITE(National Institute of Technology and Evaluation)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

7) インターネット情報:

安全衛生情報センター（中央労働災害防止協会）

化学品ビジネスe・データ（化学品イー・データ開発）

国際化学物質安全性カード（ICSC）,日本語版

3省共同化学物質データベース

セクション 3 に記載のフレーズに関する全情報は:

H250 空気に触れると瞬時に発火

H260 水との接触で可燃性ガスを放出し、瞬時発火の危険あり

H400 水生生物に非常に強い毒性あり

H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性あり

初回のSDS改定。改定後の変更は適用外。

巻末



本製品に関する全ての情報及び（または）、ここに記載する取り扱いと使用に関する提案は、誠意をもって提示しており、信頼にたるものです。しかしながら、アクゾ・ノーベルはこのような情報の正確性及び（または）満足できる内容であるかどうかに関しては、保証は負いません。